

# 生活支援体制 整備事業だより

R4 第4号 令和4年11月発行

遠賀町社会福祉協議会

☎293-0430

(担当 三根・矢野・曾川・安増)

## 第4回島門校区協議体 (11/29)

島門校区の愛称は「翼の会」に決まりました。



### 【参加者】

島津	梅谷小夜美さん	福祉ネットワーク推進委員
鬼津	三原富子さん	民生委員
田園南	篠塚重信さん	公民館長
今古賀	加藤秀邦さん	区長

「校区に認知症の行方不明者が出た場合の捜索体制」と「認知症を正しく理解するための啓発活動」のどちらか1つをテーマに協議していくよう話し合った結果、認知症の啓発活動は、“初期症状”があったとしても、家族が気づかないケースやデリケートな話なので、周りが家族に伝えることができないといった意見が出され、捜索事業の紹介も含めて、認知症を正しく理解できるような啓発活動について協議していくことになりました。

## 第4回広渡校区協議体 (11/19)

認知症を公表することのメリットデメリットって何だろう！

### 【参加者】

大内田悦雄さん (遠賀川区長)  
森田正人さん (中央区福祉ネットワーク推進委員)  
鈴木文代さん (旧停区民生委員)  
嶋立道子さん (松の本区民生委員)  
藤岡ひとみさん (新町区民生委員)



今回 (11/19 開催)、基礎講座の内容をどうするかを話し合いました。主な意見は下記の通りです。

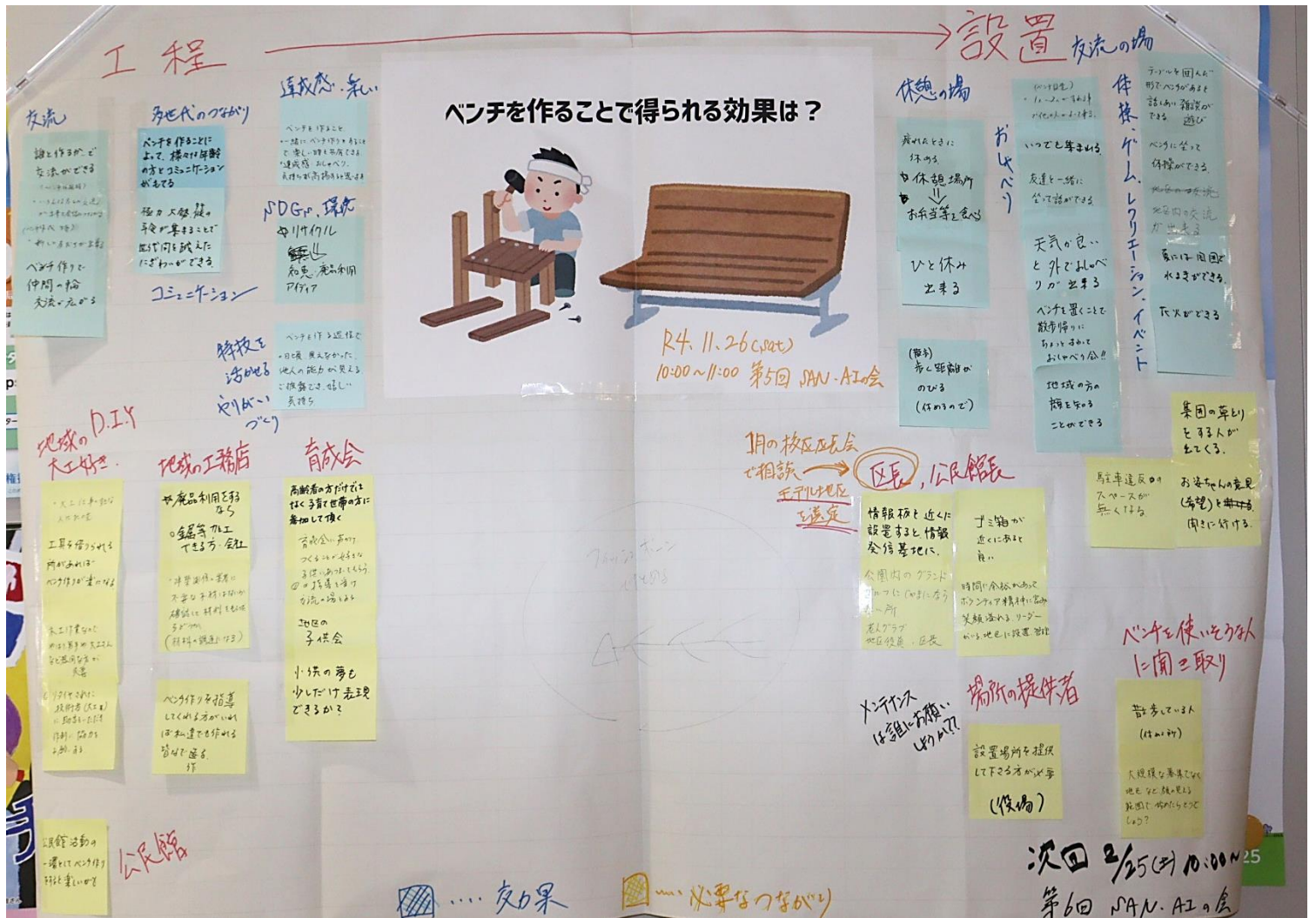
### 基礎講座【一般向け編】

- ・認知症とは？初期症状の人への対応やその特徴について
- ・行方不明者が発生した時、私たちはどうするか (支援者の行動)

### 基礎講座【家族向け編】

- ・家族が認知症になった場合？相談先や対応の仕方について
- ・認知症を公表した場合のメリットとデメリットについて など

# 第4回浅木校区協議体 (11/26)



## 《第5回浅木校区協議体の流れ》

1. これまでの振り返り
2. 生活支援コーディネーターの活動報告
3. ベンチ作りを通して得られる効果を考えよう！
4. 今後の流れについて

■ の付箋…ベンチ作りで期待できる効果

■ の付箋…効果を得るために必要なつながり

今回は、前回の話し合いの中で出ていたベンチ作りをメインに、「作る過程で得られる効果」と「地域に置くことで得られる効果」を考えました！

「作る過程で得られる効果」については、「交流」、「多世代のつながり」、「ベンチ作りが楽しみになる」、「特技を活かせる場」になる等の意見が出ており、「地域に置くことで得られる効果」については、「休憩の場」、「おしゃべりの場」、「体操やイベントの場」になるなどの意見が出されました。地域福祉を活性化する上での重要なキーワードがいくつも挙げられ、改めてベンチ作りの有用性を感じることができました。

これらの効果を得るためには、今後、色々な方とつながることが大切です。まずは各区の区長さんにこれまでの協議体の経緯を説明し、ベンチ設置のモデル地区となってくれる所を探します。

～今回の参加者～

- |             |          |
|-------------|----------|
| (東和苑) 区 長   | 石本一豊 さん  |
| (芙蓉) 民生委員   | 平川賢治 さん  |
| (木 守) 公民館長  | 石井佐千生 さん |
| (上別府) 老人クラブ | 米加田正子 さん |
| (浅 木) 福祉施設  | 森 泰子 さん  |
| (上別府) 福祉施設  | 原 耕治 さん  |
| (上別府) 福祉施設  | 盛永 綾子 さん |
| (老 良) 一般公募  | 添田秀代 さん  |
| (虫生津) 一般公募  | 古野かよ子 さん |
| (若葉台) 一般公募  | 萬徳寛子 さん  |

次回 2/25(土) 10:00~12:00  
第6回 NAN-AZの会